

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：大嶋 慎一郎

【研究責任者】

聖路加国際病院 内科 大嶋慎一郎

【研究代表者】

The University of Texas M. D. Anderson Cancer Center Department of Infectious Diseases,
Infection Control and Employee Health Essam Girgawy

血液悪性疾患または造血幹細胞移植患者を対象とした 侵襲性アスペルギルス症の抗真菌薬治療に関する研究

1.研究の対象

- 1) 当院において血液悪性疾患（白血病、リンパ腫）と診断された12歳から86歳の方かつ
- 2) 侵襲性肺アスペルギルス症の疑いもしくは診断をされた方

2.研究の目的・方法

血液悪性疾患において高頻度に合併する侵襲性肺アスペルギルス症について、適切な治療方法と治療タイミングを調べるための研究です。
本研究は国際的な共同研究となっており、各地域における治療の違いも調べます。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年4月30日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- 《情報》 病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等
- 《試料》 血液、CT画像、気管支鏡検査結果 等

4.外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。なお、海外（米国）の共同研究機関へのデータ提供は電子的媒体で配信する予定です。

5.研究組織

- 1) American University of Beirut Medical Center(AUBMC), Beirut, Lebanon
- 2) A.C.Camargo Cancer Center, São Paulo, Brazil